

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファッションデザイン演習 Fashion Design Seminar		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	()	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッションビジネス関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションビジネス関連科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟・3F	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
<p>ファッションデザイン演習では、デザイン、パターンメイキングから縫製までの衣服製作の一連の工程について習得することを目指す。デザインによる原型作図の応用と展開方法について、実践を通して学び、ファッションショーでの衣装製作につなげる。進度によりアクセサリや小物製作も行う。</p>				
授業の目標				
<p>①各自のテーマに沿った「デザイン、パターン作製、試作、補正、縫製」までの一連の工程を計画し、実行できるようにする。 ②原型製図とその展開方法について理解できるようにする。 ③アイロン、ミシンなどが使いこなせるようにする。</p>				
授業の方法				
演習形式。作品製作を取り入れ、衣装デザイン・製作の実践力の習得を図る。				
学習の成果（学習成果）				
<p>①衣服製作や小物製作の一連の流れを自ら実践できる。 ②デザインにあった設計法を選択し、それを応用できる。</p>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 衣服デザインと製作について ポーチやバックの製作について			
第2回目	テーマを設定し、デザインの製作をする			
第3回目	3回目の授業～5回目の授業でパターンの製作をする			
第4回目	パターン製作の続き			
第5回目	パターン製作の完成			
第6回目	型紙製作と布の選定をする			

第7回目	7回目～9回目の授業でサンプルの製作をする（裁断）	
第8回目	サンプル製作の続き（縫製）	
第9回目	サンプル製作の完成（補正）	
第10回目	10回目～14回目の授業で作品の製作をする（本布縫製①）	
第11回目	作品製作の続き（本布縫製②）	
第12回目	作品製作の続き（本布縫製③）	
第13回目	作品製作の続き（本布縫製④）	
第14回目	作品製作の完成（本布縫製仕上げ）	
第15回目	まとめ、発表・講評、成果物・製作レポート提出	
事前・事後学習	事前：ファッション商品の構成を研究しておく。 事後学習：ファッション商品の特徴を理解し、さらに考察を深める。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	遅刻、欠席がなく積極的に授業参加しているか評価する。
レポート	20%	製作レポートは、製作工程や方法が適切にまとまっているか。製作方法について挿絵を用いるなどまとめ方に創意工夫がみられるかを評価する。さらに、期限内に提出されているか評価する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	10%	発表（第15回）について、製作作品を着装したうえで、デザインのポイントや製作上の創意工夫、感想等が分かりやすく発表できているかを評価する。
その他	40%	製作物（第15回）について、作品がきれいに仕上げられているか、製作工程通りに作業が進められたか、デザインに創意工夫がみられたかを総合的に評価する。また、期限内に作品が提出されたかを評価に加える。
教科書と参考図書		
参考書：服飾造形講座 改訂版 ③ 文化出版局、 服飾造形応用編Ⅱ⑦ 文化ファッション体系 文化出版局		
履修上の留意点・ルール		
演習授業のため、原則、欠席・遅刻を認めない。 材料費は自己負担とする。 忘れ物、飲食、私語、携帯使用を禁ずる。		